

病理診断科

■GIO :

病理診断と病理解剖を通して、多くの臨床科と関連する臨床病理科の業務の実際を体験し、理解を深め、将来の医療活動に役立てる。

■SBOs :

1. 手術・剖検等で採取された臓器を観察、病変部を確認し、顕微鏡標本としたい断面を作る（切り出し）ことができる。
2. 顕微鏡標本を観察し、指導医の下で病理学的診断書を作成できる。
3. CPC に積極的に参加し、討論することができる。
4. 臨床・病理の指導医の下で、受け持ち症例についての CPC レポートを作成し、発表することができる。

■LS :

1. 各症例について指導医とともに病理業務を行う。
2. カンファレンスや病理の症例検討会（院外も）に参加する。

■Ev :

1. 自己評価：EPOC による形成的評価
2. 指導医による評価：EPOC による形成的評価と総括的評価
3. 臨床検査技師等による 360° 評価：形成的評価